

市 P たより「かけはし」

熊本市 PTA 協議会事務局 平成 26 年 1 月 17 日

Tel : 356-1122 Fax : 351-2309 H25-7 号

E メール info@kumamotocity-pta.net

あけましておめでとうございます。1/7 の始業式には、寒い中に市教委や地域の方々と共にさわやかな挨拶が飛び交ったことでしょう。年度のまとめと次年度への準備の 3 学期、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

○ **一斉あいさつ運動お世話になりました・・・**今回も市教委から教育長様はじめ 135 人の職員の方々が市内全ての市立小中学校に出かけてくださいました。平成 13 年度から市教委及び小中学校長会の協力を得て続くこのあいさつ運動が、今後も教育委員会、学校、保護者、地域をつなぎ、信頼関係を深める価値ある行事として継続して行ってほしいと念じます。

○ **助成金を有効にご活用ください・・・**今年度から始まった「C P 読書プラン」。受け取り時に数名の方から感謝の言葉をいただきました。併せて、これまではずっと手持ちの本を使っただけの読み聞かせや参考文献を私費で買っていました。今回は助成金で買うことができました。とか、学級文庫の充実に役立てたい。といった具体的な活用の様子もたくさん聞かせていただきました。喜びの声にこちらまでうれしい気持ちにならせていただきました。他のプランも含め、どうぞ有効にご活用ください。

ちなみに、今年度の C P プランには、読書プラン：24 件、家族プラン：2 件、地域連携プラン：14 件、計 40 件の助成金支給がなされました。次年度は家族プランにももっと応募があればと期待しております。新年度になりましたらすぐに募集案内をお届けしますので、奮ってご応募ください。

○ 2/26 (水) 19 時～パレールにて単 P 説明会を実施

年間予定にはなかったことですが、下記内容で単 P 向けの説明会を開催することになりました。ご多様な折に恐縮ですが、単 P からお二人程度のご出席をお願いいたします。(詳細は同封のお知らせをご覧ください)

ア 政令市 P T A としての現状と今後について(市 P 協議会より)

イ 次年度夏季休業中のプール開放について(主として市教委より)・・・新しい仕組みでのプール開放 2 年目に向け、その内容を早めに市教委から説明していただくものです。

○ 平成 25 年度日 P 負担金分の返金について・・・

公益社団法人となったばかりの日 P (日本 P T A 全国協議会) への直接加入が本年度もできない見通しとなりました。とりあえず、本年度市 P 会費に含めていただいております日 P 負担金(10 円×会員数分)を、最寄りの区 P 定例会等の折に返金いたします。お手数ですが受領方よろしく願いいたします。(詳細は同封のお知らせをご覧ください。受領書も同封しております)

○ **単 P 研助成金申請 出されましたか？・・・**1 万円を上限とする助成制度です。詳細は 6/12 付熊市 P 協発第 30 号または市 P のホームページをご覧ください。～締切 1/17(金)

各単 P では、様々な研修をされていることでしょう。次年度以降も奮ってご応募ください。なお、毎年の定期総会要項の後ろ見開きに、申請のあった研修内容を掲載しています。どうぞ参考になさってください。

○市 P 協からの質問等への市教委からの回答 (その 3)

③学力向上に向けた具体的取り組みをご紹介します。

(回答：指導課)

ぜひ身に付けてほしい基礎・基本の問題集「学びノート」を作成し、小学校の国語、算数については、全児童に配付し、活用を促しています。また、小学校 3 年生以上の希望者を対象として、学びノートを活用した「学びノート教室」を開催し、学力向上を図っています。平成 25 年度より、市内 16 校の小学校に学力向上支援員を派遣し、算数の授業に参加し、子どもたちに直接指導を行っています。

④小学校でも学力の二極化を感じます。先生方の増員や専門の外部講師導入など、斬新な取り組み等できないでしょうか。

(回答：指導課)

少人数指導や T T 指導などの教員の配置を行っているほか、デジタル教科書を活用し、子どもたちの興味関心を高めるとともに、学習効率を高め、学力の定着を図っています。また、ステップアップサポーターによる支援により教師の授業改善、授業力向上を図っています。

さらに、今年度からは、小学校 3、4 年の算数の基礎学力の定着を図るために、学力向上支援員を派遣しています。

⑤児童数の減少などで部活動の部数が減少しています。指導される先生の確保や負担等大変でしょうが、子どもたちの選択肢を増やすことはできないでしょうか。

(回答：健康教育課)

部員数の減少などで休部や廃部を余儀なくされる場合もありますが、学校では児童生徒や学校の状況等に応じた部活動運営に取り組んでいます。自分がやりたい種目が部活動にない場合などはスポーツクラブ等に入って活動するなどの選択肢もありますが、部員不足のため部が成立しない等の理由で運動部活動が成り立たない場合は、近隣校間で連携し部活動を合同で維持していく「合同運動部」を実施することも可能です。学校では通常の部活動の他に、気軽にスポーツを楽しみたい児童を対象に「総合運動部」を設置している学校もあります。

→裏面へ